

【令和7年度 総合人間学部主催

「総合人間学部 1, 2 回生のための 4 回生による就職活動体験報告会」を開催しました】



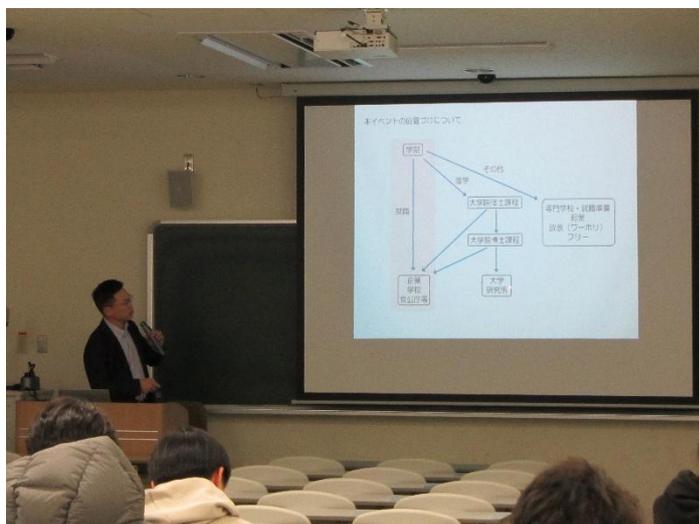
■ 開催の目的

2026年1月21日(水)、総合人間学部主催「総合人間学部 1, 2 回生のための 4 回生による就職活動体験報告会」を開催しました。この企画は、在学生のみなさんが早くから将来や就活について考えるきっかけとしていただくために、総合人間学部 1~4 回生、人間・環境学研究院院生を対象としています。

■ 就職担当教員による就職活動の現状について



就職担当教員 久代恵介先生



就職活動状況についてのお話の様子

今年の参加者は計28名でした。はじめに就職担当教員の久代恵介先生より、「就職活動の現状について」お話しいただきました。進路として「就職」だけが唯一の正解ではなく、卒業後には多様な選択肢があり、自分に合った進路を選ぶことの大切さをお話されました。また、就職先を考える際の視点として、業務内容や個人の適性・興味関心に加え、給与や労働時間、将来性、スキルアップにつながるかどうかことが重要であるとのお話でした。

昨年度の卒業後の進路先データは、学部を知る(<https://www.h.kyoto-u.ac.jp/student/ug/data/>)に掲載しておりますので参考にしてください。求人票は KULASIS に掲示しています。また、総合人間学部には企業から依頼がある大学推薦もあり、本人の希望と企業とのマッチングが前提ではありますが、高い確率で内定につながります。就職活動に関して相談があれば、久代恵介先生の研究室に訪ねてみてください。

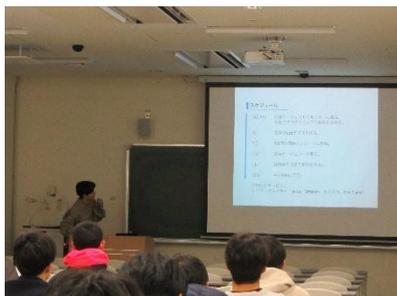
■ 先輩学生による就職活動体験談

続けて、就活を終えた総合人間学部4回生3名が登壇し、総合人間学部の広範囲な学問分野を生かした準備からエントリー、面接、内定までの体験談を語ってくれました。それぞれの志望業界の最新情報や就活エピソードを聞くことができ、非常に学びの多い時間となりました。話を聞くと、自分の進路や就活方法を見直すヒントがたくさん得られます。



● 民間企業(広告・コンサル系)志望

インターンを通じて業界を深く理解することの大切さや、エントリーシート・面接を計画的に進めるコツ、企業との相性を見極める視点について、具体例を交えて話がありました。



● ITエンジニア志望

実際のプログラミング成果物やスキル評価が重視される業界ならではの就職活動の進め方や、就活エージェント・AIツールの活用法について紹介してくれました。



● 公務員(国家)志望

専攻との関連性や職場の雰囲気を意識した進路選択の考え方、試験対策のポイント、さらにエントリーシートや面接で評価される「過程や学びの伝え方」について共有がありました。

4回生による就職活動報告の発表の様子

■ 質疑応答・参加者の声



質疑応答の様子。登壇者3名が前に並び、参加者の質問にお答えしました。



個別相談の様子

質疑応答や個別相談の時間では、「就活に役立つ情報源やサービスは何か?」「学業との両立はどうしているか?」など、たくさんの熱心な質問が寄せられました。話を聞くだけでも参考になることが多く、参加者それぞれの工夫や経験がとても勉強になりました。

進路選びについては、「まず興味を細かく分解して、とりあえずやってみる」「自分が続けられるか、苦痛に感じないかを意識する」ことが大切だ、という点で意見が重なりました。やってみないと分からないことも多いですが、ちょっとした視点を持つだけで考え方や進め方が変わるのだと実感できました。

「就職活動は一本道ではなく、いろいろな選択肢の中から自分なりに納得できる進路を探していくものだ」という点も共有できました。「焦らず、妥協しすぎず、人やツールを上手に活用しながら、自分に合った道を見つけてほしい」というメッセージで報告会は締めくくられました。ぜひ今後も積極的に参加して、情報や経験を自分のものにしてください。